



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎
(札幌西RC)

季節商売とは言え、確定申告の仕事が終わってやれやれと思っていたら、3月決算で現金の実査とか棚卸の立会とか監査の仕事がボロボロと出て来て、因果な商売を続けているものだと改めて感じている今日この頃です。

本州では既に桜は散ってしまったようですが、北海道は4月の後半からがシーズンですね。それぞれのクラブでも観桜会など楽しい移動例会を開催しているところも多いのではないのでしょうか。綺麗に咲いている花も散りゆく定めで季節が移ろっていく様は風情ということなのでしょうね。

4月はロータリーの母子の健康月間となっていますが、今の日本の状況を考えると、単に母子の健康というより、まず子供を作り育てる社会環境改善が喫緊の課題だと思います。昨年の子供が80万人を割ったというニュースがありましたが、このままの状態が続くことは日本が消滅に向かっているということなのでしょう。

女性が社会で活躍することと、家庭を持たないこととの関係を断ち切るために何をすべきなのでしょう。働き甲斐のある仕事と豊かな家庭生活は両立されなければならないことだと考えますが、何が障壁となっているのでしょうか。日本のロータリーに女性会員が少ないことと何か関係しているような気がしています。

さて、2月に第8グループのIMがあった後、第3グループのIMが栗山で、そして3月に入って第4・第5グループ合同のIMが札幌で開催されました。それぞれガバナー補佐の皆さんが工夫された趣向で催されとても感心して参加して来ました。しかしまだコロナの影響もあり、懇親会が無かったり人数制限をしたりと今ならではの工夫をしたIMでした。

3月21日は地区の米山奨学生の卒業式と言うか年度の修了式が執り行われました。



11名の奨学生の皆さんが参加され、それぞれの想いを語ってくれました。出身国は違っても、米山の制度に感謝し、お世話になったカウンセラーやクラブに対するお礼の言葉がとても嬉しいものでした。

その後、25日と26日には小樽にてPETSが開催され、松浦年度の本格的な動きが始まりましたが、ホストクラブである小樽南RCの皆様の温かいホスピタリティーにより、各クラブから来られた会長エレクトの皆様は有効な情報を得るとともに、親睦を深めることが出来たのではないかと推察します。それにしても土曜日の午前10時半から日曜日の午後0時半までのトレーニングセミナーは中身が濃いものでした。



受講する会長エレクトの皆様は真剣そのものでした。それでも土曜日の夜は4年ぶりのリアル懇親会が開催され、大いに盛り上がりました。



最後は久しぶりの「手に手つないで」で締めでした。多少アルコールが残った方も居たでしょうが、日曜日の財団セミナーと米山セミナーではそれぞれ奨学生が登場して想いを語って頂き、大変感動的でした。各クラブの活動計画が実のあるものとなることを期待しております。

